

# 日向市食育・地産地消推進計画

～<sup>きと</sup>古里の味　おいしい笑顔　いただきます～



平成26年 3月

日 向 市

## あ い さ つ



さと  
古里の味 おいしい笑顔 いただきます

元来、「食育」は、家庭等において普段の生活の中で意識せずに行われてきました。

しかしながら、現在のライフスタイルの多様化に伴って、家庭での食事への配慮がおろそかになり、食に対する感謝の気持ちや健康への影響など「食の大切さ」の意義が低下しています。このような傾向の表れとして、栄養の偏りや朝食の欠食などの食習慣の乱れや生活習慣病が増加しています。

本市では、保育や教育などの分野で「食育」に関する様々な取組みを行っており、子どもの頃から正しい食を選ぶ力を身につけ、生涯にわたって健康的な生活を送るための土台をつくる「食育」は、ますます重要となっています。

一方、本市の農畜産物は、稲作をはじめ野菜、果樹、畜産の生産が盛んに行われており、また水産物は、マグロやシラスなど多くの魚介類が水揚げされていますが、地元の生産物を地元で消費する、いわゆる「地産地消」が進んでいない状況にあります。

これらの豊富な農林水産物については、直売所等の情報発信を行うとともに農林水産業の体験等を行い、生産者と消費者との信頼関係の構築を図りながら、各種イベント等において消費拡大に努める必要があります。

このような状況を踏まえ、策定しました「日向市食育・地産地消推進計画」では、「古里の味 おいしい笑顔 いただきます」をキャッチフレーズとし、基本目標を『健康の源は朝食から 豊かな「ひゅうがの食」に感謝しよう！』としました。

また、基本目標を達成するための基本施策として、「家庭や地域における食育・地産地消の推進」、「学校や保育所・幼稚園における食育・地産地消の推進」、「地場製品の消費拡大の取組みの推進」、「食育・地産地消に関する情報の収集及び提供」の4つの施策を展開することとしています。

今後は、本計画を基にして、食に対する幅広い知識を身につけ健康寿命の延伸を図るとともに、地場製品の消費拡大を推進してまいりたいと考えておりますので、市民の皆様や関係者のますますのご支援とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました委員の皆様をはじめ、関係機関、団体の皆様方に深く感謝申し上げます。

平成26年3月

日向市長 黒木 健二

# 目 次

## 第1章 計画の策定にあたって

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置づけ	2
3	計画の期間	2

## 第2章 食をめぐる現状と課題

1	食生活の変化と健康	3
2	ひゅうが学校教育プランの取組み	5
3	日向市の農林水産物	7
4	農林水産物直売所の状況	10
5	学校給食における地場産品の活用状況	11

## 第3章 食育・地産地消推進の基本的な考え方

1	基本目標	12
2	基本施策	12

## 第4章 食育・地産地消の推進に関する施策

1	家庭や地域における食育・地産地消を推進します	13
2	学校や保育所・幼稚園における食育・地産地消を推進します	15
3	地場産品の消費拡大の取組みを推進します	17
4	食育・地産地消に関する情報の収集及び提供に努めます	20

## 第5章 計画の推進にあたって

1	推進体制	21
2	関係者の役割	21
3	計画の進行管理	22
4	食育・地産地消推進にあたっての数値目標	22

## 参 考 資 料

1	日向市食育・地産地消推進委員会設置要綱	23
2	日向市食育・地産地消推進委員会	24
3	日向市食育・地産地消推進計画策定委員会設置要綱	25
4	日向市食育・地産地消推進計画策定委員会	26
5	日向市の主な農林水産物の収穫時期	27
6	食事バランスガイド（宮崎県版）	28
7	食育アンケート結果	30
8	食に関するデータ	32
9	用語解説	38